

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第4部門第1区分
 【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2006-266066(P2006-266066A)
 【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)
 【年通号数】公開・登録公報2006-039
 【出願番号】特願2005-213994(P2005-213994)
 【国際特許分類】

E 0 4 H 17/20 (2006.01)

E 0 4 H 17/14 (2006.01)

G 0 8 B 15/00 (2006.01)

【F I】

E 0 4 H 17/20 A

E 0 4 H 17/14 1 0 2 Z

G 0 8 B 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月1日(2008.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持部材を有する柵と、

前記支持部材の下部を基礎体に対して支持するとともに、前記柵に対して垂直な方向の
 人力が作用した場合に、前記柵が傾動するようにした弾性体と、
 を備え、

前記基礎体に対して前記柵が傾動した状態を検知する警報装置を設置したことを特徴と
 する。

【請求項2】

前記基礎体にストッパを設置し、前記柵が適宜角度傾動した場合に、前記柵のそれ以上の
 傾動を規制するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の柵。

【請求項3】

前記柵は、複数の柵部分によって構成され、当該複数の柵部分は、前記支持部材と前記
 弾性体とを個別に有することを特徴とする請求項1および2のいずれか一項に記載の柵。

【請求項4】

隣り合う前記複数の柵部分を互いに連結した索条をさらに備えることを特徴とする請求
 項3に記載の柵。